



群馬県 = くだもの？

群馬生まれのオリジナル品種が
こんなにたくさん！

群馬の オリジナル品種

りんご



おぜの紅 8月下旬～9月上旬
早く収穫できる品種で、果実は大きくて形が良く、果皮の着色が良いりんご。甘みと酸味のバランスが良く、香りが良いのが特長の新品種で、平成24年頃から観光果樹園で販売されます。



陽光 10月中旬～下旬
果実は大きく、果皮は鮮やかな濃い紅色。果肉は白くてやしまりがあり、果汁が多く、甘みと酸味のバランスがとれています。



ぐんま名月 10月下旬～11月上旬
「あかぎ」と「ふじ」を交配させた県を代表する品種です。果皮は黄色で、太陽光が当たる部分はうっすら紅色。蜜がたっぷり入り、甘みが強く、酸味が少ないのが特長です。



スリムレッド 10月下旬～11月上旬
ユニークな俵形のりんごで、果汁が多く、歯ざわり・舌ざわりが良く、果皮が柔らかいので丸かじりに最適です。

ブルーベリー



はやばや星 6月下旬～7月上旬
収穫の時期が早く、果実が比較的大きく、やや酸味のある、さわやかな味が特長です。



おおつぶ星 7月中旬～下旬
果実の大きい(約2.0g)品種。果皮がしっかりしているので日持ちが良く、果汁たっぷりで濃厚な味わいが特長です。



あまつぶ星 7月中旬～8月上旬
果実が大きい(約1.9g)品種で、糖度が高く食べやすいのが特長。「おおつぶ星」と同様に県内での生産が盛んです。

いちご



やよいひめ 12月下旬～6月上旬
上品な鮮紅色。大粒でしっかりして日持ちが良く、甘味と酸味のバランスに優れた食味の良い品種。名の通り3月(弥生)以降も安定した品質を保っています。

ぐんまでしか
買えない、
プレミアム品種だよ。
来て、見て、
食べて！



さくらんぼ

有名な産地にも負けない
品質のよさが自慢です。
もぎたての本物の味を
思う存分楽しんで。



首都圏から近いさくらんぼ産地
群馬県は、首都圏から身近なさくらんぼ狩りができる産地で、家族連れに人気があります。沼田市、みなかみ町、渋川市等に、もぎ採りを中心とした多くの観光果樹園があります。



枝の誘引 果実に直接光を当てて、果実の色をよくし甘みを確保します。

